



警備部
文化施設所属
川口 耶子



警備部
文化施設所属
石井 真優



警備部
文化施設所属
山岸 桃子

SDGs 新入社員インタビュー

SDGs について、どのように認識していましたか？

山岸—環境に優しい、エコと同じような感じかな？と思っていました。大学でSDGsの授業があったかもしれませんが、選択科目で取らなかったの、正直詳しくは知らなかったです。テレビでSDGsのロゴやマークを見たことはありましたが、それくらいです。

石井—あまり深くは知らなかったのですが、環境問題かなと思っていました。入社してからSDGsについてのセミナーに参加する機会があり、企業として取り組めることが沢山あるのだなと実感しました。

川口—SDGsという言葉やマークはよく見かけていましたが、具体的には何を指しているのかはよくわからなかったです。

SDGsに関連して、仕事でやりたい事はありますか？

山岸—特に「4. 質の高い教育をみんなに」の目標で、教育に力を入れたいです。新しいアルバイトの方が入ってくるので、その教育にも関わりたいです。また、美術館業務ではベビーカーや車いすの貸出しを行っています。ご存知ない方も多いので、貸出できることをより多くの方に知っていただき、快適な環境で施設を利用してほしいと考えています。

石井—「4. 質の高い教育をみんなに」「5. ジェンダー平等を実現しよう」に重点を置きたいです。学校の授業では美術や音楽が減ってきているので、その代わりに美術館等で文化芸術に触れる機会を提供できたら素敵だなと思っています。人事では、ジェンダーレスな採用をしていきたいと考えています。多様なスタッフが在籍することで、職場環境がよくなると思います。

川口—私も「5. ジェンダー平等を実現しよう」に関心を持っています。面接において老若男女関係なく、個々の良いところに注目していきたいです。採用面接時にの同席しましたが、先輩社員がそうしているのを見て、とても勉強になりました。

17目標の中で、関心のあるものとその理由を教えてください。

山岸—「2. 飢餓をゼロに」「4. 質の高い教育をみんなに」に関心があります。フードロスが気になっていて、例えばコンビニでよく見かける手前取り等はとても身近に感じています。教育については、最近まで学生だったこともあり、特に気になります。私の学校では美術館に行く機会がなかったので、美術館に来る学生団体を見かけると、その機会が羨ましいなど

思うことがあります。

石井—「5. ジェンダー平等を実現しよう」に関心があります。美術の大学に通っていたので、LGBTQ+の人たちがアート活動の中でそのアイデンティティを表現している事を身近に感じていました。

川口—「15. 陸の豊かさを守ろう」で森林伐採や保護に関心があります。樹木が減ることで地球温暖化や生態系に悪影響を与えるので、それを防ぐことが重要だと思っています。例えば、コンビニでは割り箸を渡していますが、私は自分のマイ箸を使っています。そういう小さな行動が大事だと思っています。

あなたができる環境への配慮はありますか？

山岸—私は仕事のメモでは裏紙を使うようにしています。移動もなるべく自転車を使うようにしています。環境にも優しいし、健康にも良いので。

石井—無駄なものを買わないように心がけています。昼食はお弁当を作っているのですが、食材を使い切るようにしています。日用品も使い捨ての物は買わずに長く使えるものを大事に使うようにしています。

川口—私はマイ箸やマイマグカップを使っています。少しでも使い捨てを減らせるように、身近なところから意識していこうと思っています。

ジェンダー平等について、会社がどういったものに取り組むと良いと思いますか？

山岸—私は採用時にジェンダー平等を意識することが大事だと思います。接客=女性というイメージがありますが、私たちの仕事は接客業務に加え警備の要素もあるので、男性も活躍できる場が平等にあると良いと思います。

石井—私は現場の研修でLGBTQ+についての話を聞いて、会社全体でもその内容を教育に取り入れると良いと思いました。美術館でもLGBTQ+に関する展示があるので、そのような情報を共有することで理解が深まるのかなと思います。

川口—私も採用面接で、先輩社員が老若男女関係なくその人の良いところに注目しているのを見て、とても勉強になりました。こういった考え方を全体で共有できると、より多様な価値観を尊重する職場になると思います。